

令和元年6月23日

## 第11回 新木地区「地域会議」議事録

1 開催日時 令和元年6月23日（日） 10:00～

2 開催場所 新木近隣センター 多目的ホール

3 議 事 司会進行 新木地域会議事務局長

(1) 開会挨拶 事務局長

(2) 市民活動支援課課長補佐

(3) 意見交換おしゃべり

「地域会議の開催テーマ」

安心・安全住みよいまちづくりに向けて

「買物環境の支援」の現状把握について（その4）

イ「新木野暮らしのサポートセンター」について

経過報告

ロ アンケート説明

ハ 総体意見交換

グループ討議（おしゃべり）

今、求められている支援

今、出来る支援

今、自分が出来ること

（押し付けない・理解を分け合う・聞く耳を持つを基本に  
発言をいただき、{見える化}を図りたいと思います。

ニ グループ発表まとめ

(4) 新木地域会議 感想アンケート

(5) 閉会

#### 4 出席者 以下の通り

新木住宅自治会、南新木一丁目自治会、新木団地自治会、あらき野自治会 2 名、吾妻台自治会、上新木区自治会、松風苑自治会、ニュー新木会自治会、南新木自治会、北原地自治会、新木小学校、新木小学校 P T A、湖北中学校、湖北中学校 P T A、我孫子特別支援学校、湖北地区民生児童委員、湖北地区社会福祉協議会、湖北地区公民館、ふらりえ新木野、新木野高齢者見守りネットワーク、新木地区消防団 1 6 分団、新木地区消防団 1 7 分団、虹の家、デイサービスルーチェ、新あらきのおうち、新木小父親の会 2 名、カスミ新木駅前店、新木地区まちづくり協議会 1 1 名

#### 5 次回予定日 令和元年 10月20日(日) 10:00~12:00

# 1 グループ議事録

## <現状>

- ・一人暮らしの高齢者など、買物が困難な方を見て知っているので深刻な面がある。
- ・買物が困難になるため、免許の返上で悩んでいる方も多い。
- ・農家移動トラック、あびバス、スクーター、自転車など利用してはいるが、問題は多い。

## <意見>

### ○あびバスの利便性について。

- バスのコース／ダイヤを、買い物に便利なように変更したい。
- 小型バスを増やして小回りがきくバスの方が利便性が高い。車椅子に対応されてバスが大きくなったが、車椅子利用を見たことがない。

### ○送迎バスの公報について

- 病院、学校などの送迎バスを高齢者が利用できるサービスがあるが、認知度が低い。買物支援として有効なので、広報するとよい。

### ○近所や家族の支援の問題

- まずは家族で親の支援が出来る交流を持ってもらいたい。
- 近所の助け合いも重要。近所のコミュニケーションを持ってもらいたい。
- 自治会の回覧板は、コミュニケーションのツールとして役立てていきたい。

### ○その他

- 家族で親の支援が出来る交流を持ってもらえるようはたらきかけた
- 現在、タクシー利用の補助を市で行っているが障がい者のみである。高齢者も対象になるようにしてもらえると良い。

## 2 グループ議事録

アンケートを参考に話し合いをする

- ・利用者に対するニーズはどんなものがあるか。
- ・ネット利用をしたいが仕組みがむずかしい。
- ・PC（ネット）が無い人がいる、第三者が家に入るのは難しい
- ・高齢者と言うが、個人差がある（身体的、金銭的他）
- ・自治会内の高齢者個々の情報を把握するには難しい（個人情報）
- ・行政等それぞれの役割があり、どこか一カ所で行うのは難しいので連携して、其々やれる範囲でいいのでは。
- ・アビバスは時間帯・本数が偏り、利用が減少している、市には粘り強く要求することが必要
- ・周囲の理解と身内の支援が必要。新木地区より過疎地帯は多くある。
- ・近所の人挨拶があり、その延長上に支援が生まれる
- ・近所との付き合い → 顔見知り → 話し合い → 支援
- ・社協で千葉ニュータウンにバスで買物に出かけたことがあり、行きと帰りでは顔色が良くなっている
- ・高齢者は出てくる場を作ると出てくる。
- ・親父の会では特に「買物支援等」の話題はでない、温度差があるようだ。
- ・段階的に支援が出来ない物か。第一段階：ネットでの買い物を教える又電話利用方法、第二段階：買物に同行する、第三段階：買物の代行をする
- ・困っている人が自分から話す人は少ない。
- ・身内から始まり段階的に行うのが良いのでは。
- ・各分野での検討が必要（行政、自治会、地域会議等）
- ・買物に行けない状態の解消
- ・「エンジョイ新木野」に期待をしている、見守りたい。

### 3 グループ議事録

1. (新木小 PTA) 「買物環境支援」はどれくらいの要望があるのか？
2. (まち協会長) 地区によってニーズはばらつきがあるので、移動販売／ボランティア支援などを組み合わせていく必要がある。  
例として野田市／取手／印西などで移動販売の実績があるが市の援助が必要。我孫子市ではまだ考えていない状況である。
3. (まち協) 取手市 26 カ所巡回している (朝 9:00-17:00)、市からの援助は人件費充当のようだ。
4. (あらき野) 高齢者は買物で店内を歩き回ることが楽しみなので店への送迎が重要である。その趣旨で「エンジョイ新木野」は送迎に重点を置いている。
5. (ルーチェ) 自分で買物をしたいという欲求が強いので、買物支援としてカスミなどに連れて行っている。重要なのは高齢者が何を望んでいるかを把握すること。安食では 10:00-15:00 でスーパーを巡回する市民バスを運行している。このような例を参考にできる。まずは足回りを確保すれば良い。例えば新木野は新木駅まで、上あらき台は湖北駅まで、などを考えて市に検討してもらおう。
6. (カスミ) 地元密着がモットーなので移動バスはすぐ可能であるが、市のバックアップが必要。新木店では電話での注文が多い。宅配で多少のコストは負担してもらおうが、要望が多い順に実施したい。
7. (新木小 PTA) 高齢者は外に出たいし買物に行きたがっている。とにかく外に出たい！行政に頼っても時間がかかるので、出来ることをやっていく。  
「エンジョイ新木野」が立ち上がるので、ここでとにかくやってみる。  
その中でバス便への要求が出てくると思う。
8. (松風園) 現状要支援者がいないので、自治会では要求が強くない。
9. (まち協) あびバスを小型化し、細かいルートを巡る方策に転換してはどうか？
10. (湖北中学) 買物と中学生の交流は考えられないが、草刈や地域イベントにボランティアで参加することはできる。しかしボランティアと部活の時間の割り振りは難しい。
11. (新木小 PTA) 子供と地域の WinWin 関係はできそう。  
例えば、通学の途中に見守りをしたり、ピンポンして挨拶するなど。
12. (まち協) 高齢化が進行している新木野で「移動販売よりスーパーへの足を作る」との判断は重要で、最優先は足の確保だと思う。
13. (湖北中学) 7/11 に中学校の保護者会があるので来てもらえれば話が出る。

## 4 グループ議事録

「買物環境の支援」の現状把握について

- ・ 高齢化 独居が多い 家族とのコミュニケーション不足
- ・ イオンの移動販売 イオンへ布佐駅からバスが出ている
- ・ えんじょい新木野、取り入れる
- ・ パソコンが苦手、自分のものとする方法
- ・ 配達システムの周知、チラシの作成
- ・ 公民館（こほみん）交通の便が悪い
- ・ 引き籠り対策
- ・ アビバスの利用少ない
- ・ 生協の利用
- ・ 移動販売 買物が楽しみ
- ・ 自宅に居ながら買物 スーパーの買物システム
- ・ 外に出る環境づくり
- ・ 地域に出る 自分にできること
- ・ 近所付き合い 思いやり
- ・ 助け合い 無料 有料

現行あるシステムの利用推進

スーパー・生協の配達システム 周知徹底 利用パンフレット作成  
えんじょい新木野の応援